

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 38週 > 手足口病 定点当たり患者報告数は例年に比べてかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第38週の報告患者総数は153



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 Vero毒素産生性大腸菌 / 手足口病 / ヘルパンギーナ / 無菌性髄膜炎 / 他



速報
P.6-7

医療機関で発生した腸管出血性大腸菌O157:H7による集団感染事例 - 富山県 / 他



海外感染症情報
P.8

イエメンおよびサウジアラビア(更新)でのリフトバレー熱の流行 / 中米のデング熱



感染症の話
P.9-12

クリミア・コンゴ出血熱
ダニが媒介する急性熱性疾患であり、人畜共通感染症として最も重要な位置にある



読者のコーナー
P.13



グラフ総覧(38週)
P.14-20



38週のデータ
P.21-28



発生動向総覧

第38週コメント 9月28日集計分

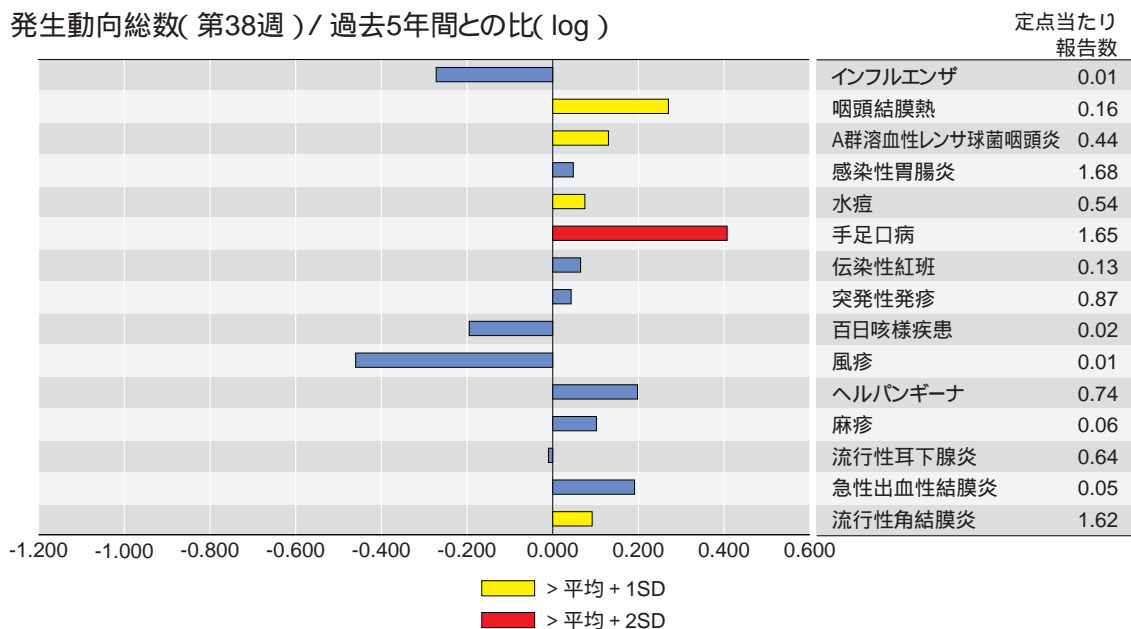
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ7例(推定感染地: 国内6例、メキシコ1例) 散発例のみで集団発生は確認されていない。
細菌性赤痢27例(推定感染地: 国内3例、インドネシア8例、ネパール4例、インド3例、中国、モロッコ各2例、米国、シンガポール、ベトナム、マレーシア、東南アジア各1例) 集団発生は確認されていない。
腸チフス4例(うち2例は疑似症。推定感染地: インドネシア2例、インド1例、タイ・ミャンマー・フィリピンなど1例)、パラチフス1例(推定感染地: 日本国内)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症153例
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例、ジアルジア症1例、ツツガムシ病1例、破傷風1例、急性ウイルス性肝炎23例 (A型5例__うち2例は神奈川県内の施設内集団感染事例の一部
B型9例__うち性行為感染4例
C型8例__うち7例は静岡県内の集団感染事例
サイトメガロウイルス1例
後天性免疫不全症候群8例(無症候性キャリア4例、AIDS4例)
感染経路__不明1例、性行為感染7例うち異性間3例、同性間4例
日本脳炎2例、VRE1例、レジオネラ症1例、梅毒4例(早期顕性1例、晩期顕性1例、無症状2例、先天性梅毒0例)、マラリア2例(三日熱マラリア2例__推定感染地: インド、カンボジア各1例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

手足口病の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。定点当たり報告数が多いのは長野県、島根県(定点当たり報告数5.0)、鳥取県(4.4) などである。咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数も、例年に比べてやや多くなっている(手足口病、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の病原体については5ページ病原体情報参照)。

発生動向総数(第38週) / 過去5年間との比(log)

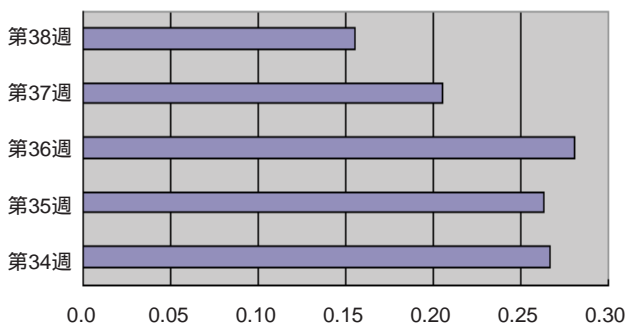


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

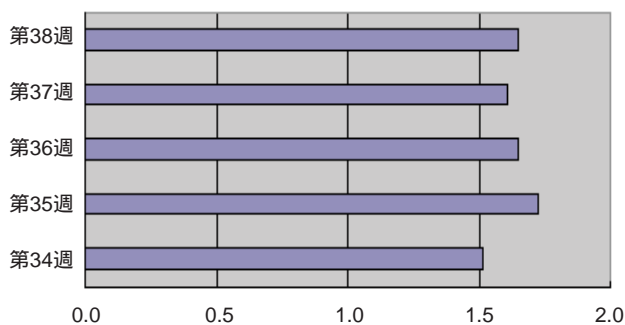
最近の注目疾患-5週間の動き

手足口病、流行性角結膜炎の定点当たり報告数が前週より増加している。咽頭結膜熱は2週続けて定点当たり報告数が減少した。流行性耳下腺炎は緩やかな減少傾向にある。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はこのところ増加傾向にあったが、今週は定点当たり報告数が前週より減少した。

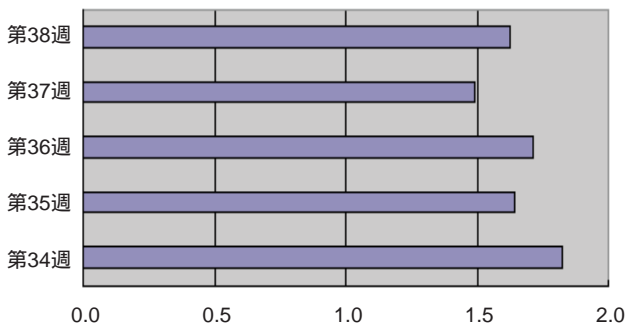
咽頭結膜熱



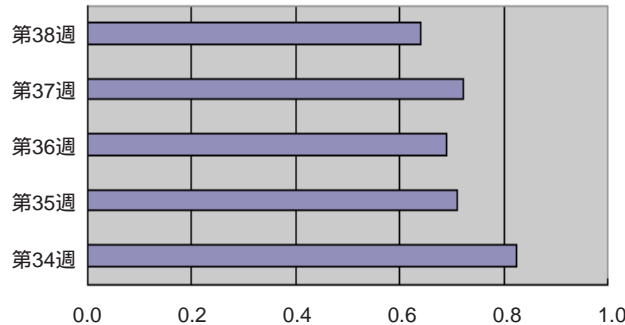
手足口病



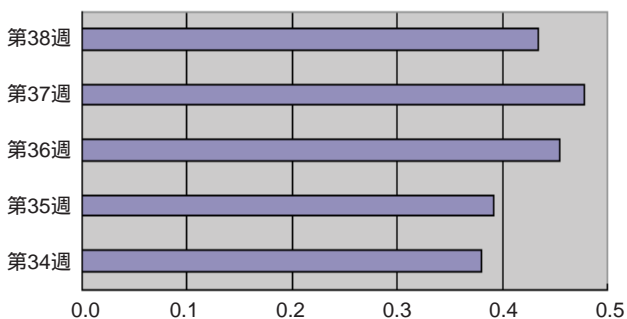
流行性角結膜炎



流行性耳下腺炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



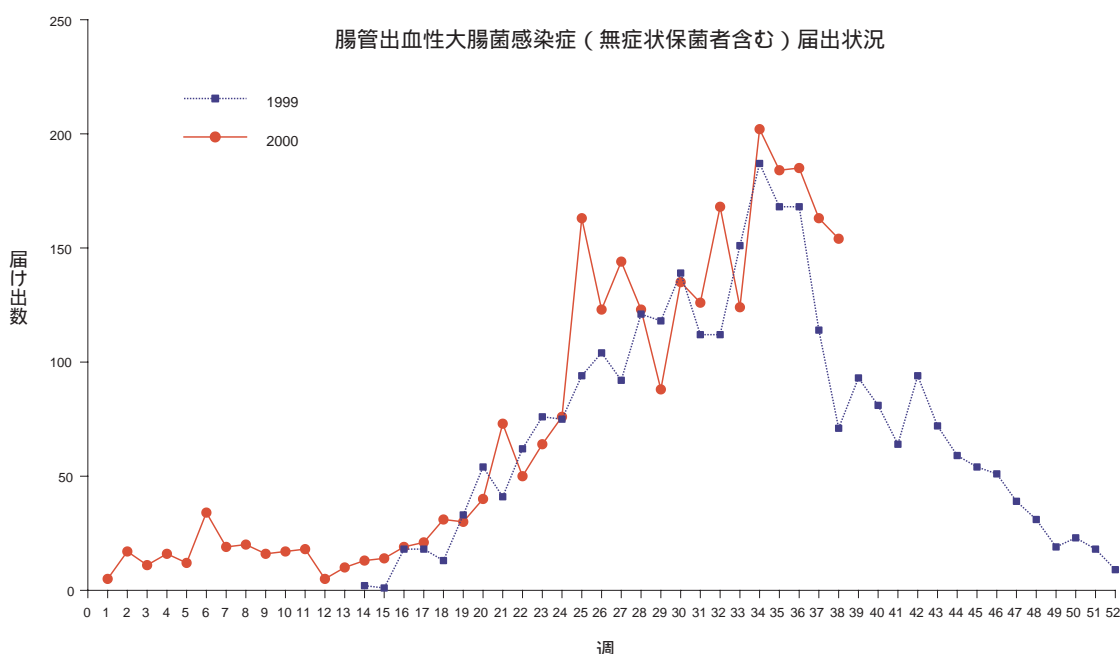
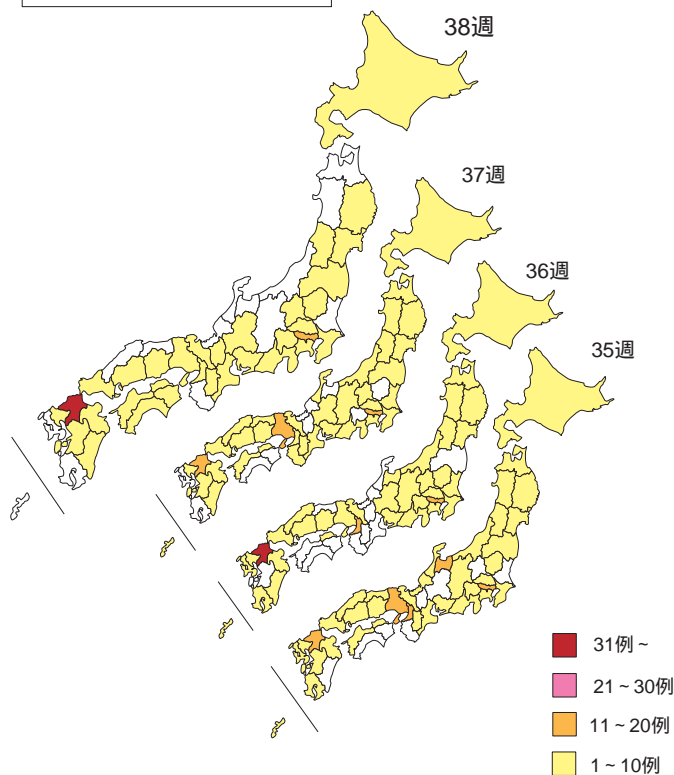
注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第38週(9月18日～9月24日)の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数(無症状病原体保有者含む)は153であった。

報告件数が多かった福岡県(39例)では、30例が保育園内のO26集団感染事例で、他に愛知県でも5例のO26集団感染例の報告があった(Vero毒素産生性大腸菌O157、O26の検出状況については、5ページ病原体情報参照)。2000年第1週からの累積患者報告数は2,711となり、大阪府、東京都、神奈川県、愛知県、福岡県、兵庫県など大都市を含む都府県で累積報告数が多い。

腸管出血性大腸菌感染症
発生動向調査
(38週時点)





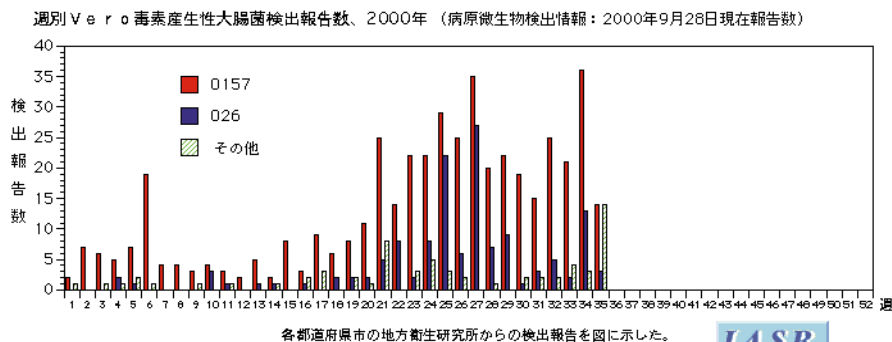
病原体情報

(2000年9月28日現在報告分)

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.gov/iasr/index-j.html>)からの引用です。

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26 2000年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が462件、O26が137件である。O157は、大阪府(126) 富山県(27)、佐賀県(22)、福岡市(20)、滋賀県(19)の順で報告数が多く、第34週以降では大阪府34、富山県5、佐賀県、石川県各3、札幌市、川崎市、横須賀市、愛媛県、大分県各1である。O26は、島根県(31)、大阪府(24)、石川県(19)からの報告数が多く、第34週以降では島根県12、石川県2、札幌市、大阪府各1の報告である。

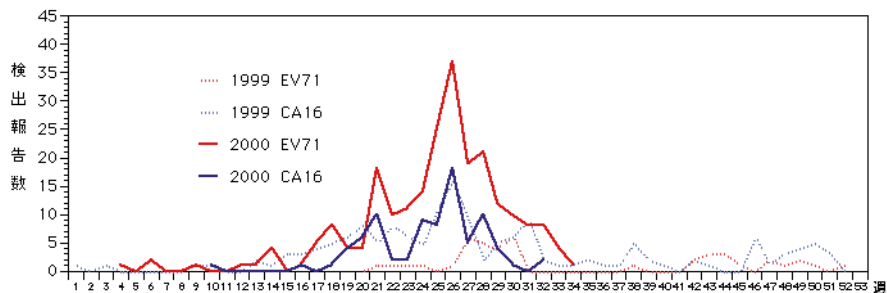


IASR
Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から分離されたウイルス 2000年

エンテロウイルス71型(EV71)の分離は181件報告され、熊本県(35)、愛媛県(33)、神奈川県(17)、愛知県(14)からの報告が多く、第34週以降では岩手県から1件の報告である。コクサッキーウイルスA16型(CA16)は82件の報告、CA10は17件の報告である。

週別エンテロウイルス71型、コクサッキーA16型分離報告数、年別比較(1999年、2000年)
(病原微生物検出情報: 2000年9月28日現在報告数)



IASR
Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス 2000年

A群コクサッキーウイルス(CA)152件(10型58、4型41、6型32、2型14、8型2、9型2、3型1、5型1、7型1)の分離が報告されている。

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2000年

エコーウイルス(E)135件(25型38、9型34、3型17、11型13、30型13、6型11、18型6、4型1、17型1、21型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)73件(5型20、3型19、4型16、1型13、2型3、6型2)、エンテロウイルス71型(EV71)30件、ムンプスウイルス27件、CA9型6件、CA10型3件の分離が報告されている。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2000年

アデノウイルス(Ad)92件(3型43、2型23、1型16、5型3、4型2、6型2、7型2、19型1)の分離が報告されている。

流行性角結膜炎から分離されたウイルス 2000年

アデノウイルス37件(4型8、8型7、3型6、37型5、11型4、19型3、1型1、2型1、6型1、7型1)の分離が報告されている。



医療機関で発生した腸管出血性大腸菌O157:H7による集団感染事例 - 富山県

2000年5月、富山県内の医療機関において腸管出血性大腸菌O157:H7(以下O157)による集団感染症が発生した。この集団感染では、検食および食材(レタス)それぞれ1検体からO157が検出された。事例の概要は以下のようであった。

感染者の発生状況:5月24日、中部保健所管内にある医療機関の医師より、定期検便において調理員1名から大腸菌O157が検出されたと届け出があった。管轄保健所でベロ毒素を検査したところ、VT1、VT2遺伝子が確認された。翌25日、同じ定期検便において、調理員3名からO157が検出されたとする追加報告があった。この結果をうけて、中部保健所は調理員をはじめとする医療機関職員、入院患者、退院患者および感染者家族等455名について検便を行った。その結果、新たに調理員3名、入院患者5名、退院患者2名、調理員の家族1名の感染が確認された。これら感染者15名はいずれも無症状であった。その後の接触者検便(290名)ではすべてO157陰性であった。

検食および食材の検査:中部保健所が調査を行ったところ、調理員の家族を除く感染者に共通性の高い食事は医療機関の給食であった。なかでも調理員に共通の食事は5月18日の昼食のみであったことから、18日の給食を中心に、食品182件、食材41件について原因菌の検索を行った。その結果、検食1検体とその食材のレタスからO157:H7(VT1, 2保有)が検出された。

分離菌のPFGEと疫学調査:感染者、検食およびレタスから分離されたO157計13株について、パルスフィールド・ゲル電気泳動によるDNAの制限酵素(XbaI)切断パターンを調べたところ、そのパターンはすべて一致した。

一方、疫学調査により、医療機関の給食は献立の種類が大変多く、感染者が必ずしも同じ調理食品を食べていないことが判明した。実際、感染者のうち、入退院患者はいずれも5月18日、昼に提供されたO157の検出された調理食品(レタスを含む)を食べていたが、調理員はその調理食品もレタスも食べていなかった。

これらの結果から、入退院患者7名は18日の昼食により感染した可能性が高いと考えられた。また、調理員の家族は医療機関の給食を全く食べていなかったため、家庭内での二次感染であったと推定した。しかし、調理員7名は入院患者らと同じ食材で感染した可能性が高いものの、同日昼の献立のうち、レタスおよびその調理食品を食べていなかったことから、原因食を特定できなかった。また、レタスについて検食・食材の他に同じ産地のものを含む12件を検査したが、いずれからO157は検出されなかった。よって、18日昼食の食材のレタスがどの時点で汚染されたのか究明することはできなかった。

富山県衛生研究所 磯部順子 田中大祐 細呂木志保 西坂美和子 北村 敬
富山県中部保健所 安井良夫 齊藤尚人 今井茂憲 加藤一之

(IASR9月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.9, 2000 P.8-9)

最近経験したサイクロスポーラ症の1症例 - 沖縄県

サイクロスポーラ症はサイクロスポーラ (*Cyclospora cayetanensis*) による腸管寄生虫感染症である。わが国では本症の報告例は少なく、把握できる限りでは6例程度である。

症例: 28歳の沖縄在住のアメリカ人男性で、2000(平成12)年5月14日～21日まで中国に旅行し、5月28日より1日10数回の下痢、腹痛、嘔気が出現した。5月29日、症状改善しないため当院受診となった。患者は同性愛歴もなくHIV抗体は陰性であった。下痢の性状は茶褐色水様ではぼ無臭であり、血液の混入は認めなかった。腹痛は持続性で臍周囲に認め、テネズムスはなかった。来院時、発熱はなく、腹部圧痛も認めず、腸音が亢進している以外は特に異常所見は認めなかった。

当日は便の細菌検査、虫卵検査の検体を提出し、補液を行い、レボフロキサシン1日300mgを5日間処方し帰宅とした。その後虫卵検査でサイクロスポーラとブラストシスティスが検出された。6月5日再診時でも下痢、腹痛は変化なく持続していた。再診時の血液検査所見では白血球の増多はなく、CRPも陰性で、異常はみられなかった。同日よりサイクロスポーラ症に対しST合剤(スルファメトキサゾール400mg、トリメプリム80mg)を1日4錠、ブラストシスティスに対しメロニダゾール1日750mgの処方を開始した。開始後1週間後には便性状は軟便になり、腹痛は軽快した。しかし、その時点でも便よりサイクロスポーラ、ブラストシスティスは持続検出された。その後患者は来院しなくなったため詳細は不明である。

サイクロスポーラは世界に広く分布するが、糞口感染のため、途上国に多く見られる。現在までわが国ではサイクロスポーラ症の報告は少ないが、今後はAIDSなどの免疫不全患者の増加、海外旅行者の増加などに伴い増加することが予想される。しかし、衛生環境が整備されているわが国では、下痢症をみた場合でも原虫を含む寄生虫検査は軽視されており、重篤な状態に至って初めて診断される場合が多い。免疫不全患者における頑固な下痢や旅行者下痢症をみた場合にはサイクロスポーラを含む寄生虫疾患も念頭におき検査をすすめる必要がある。

琉球大学医学部第一内科	平田哲生	座覇 修	金城福則	斎藤 厚
琉球大学医学部寄生虫学教室	当真 弘	佐藤良也		
琉球大学医学部附属病院検査部	中村 広			
大阪市立大学医学部医動物学研究室	井関基弘			

(IASR9月号より抜粋、詳細はIASR Vol.21 No.9, 2000 P.9-10)



海外感染症情報

イエメンおよびサウジアラビア(更新)でのリフトバレー熱の流行

WHO/CSR 2000年9月26日、9月29日

イエメン: イエメン保健省は、北部Al-Hudaydah自治区のWadi Mawrでリフトバレー熱疑い(suspected)の死者31名を含む134人の患者を報告した。266頭の動物の死亡も報告されており、主にヒツジとヤギであったが、ウシやラクダの罹患もみられた。最初の症例は9月10日に発生した。保健省、農業省およびWHOから派遣された専門家チーム、NAMRU(エジプトでのWHO共同研究機関である合衆国海軍医学研究部隊)及びオマーンの疫学者と研究者からなる流行対策委員会が組織された。また、FAO(国連食糧農業機関)からの専門家も参加する予定である。

集められた全ての人と動物の標本を分析するために、流行地域に検査施設を設置する予定であり、実地調査や昆虫学的及び生態学的な研究も実施する計画である。また、患者の管理や保健教育を含めた抑制対策の実施も援助する。イエメン政府は医療関係者や一般大衆のための電話相談を開始した。

サウジアラビア: WHOはサウジアラビア南西部のJizan地区で死者33名を含むリフトバレー熱の疑い患者160例を確認した。

中米のデング熱 エルサルバドル、ホンジュラス、ドミニカ共和国、コスタリカ

Health Canada 2000年9月22日

ここ数カ月間で中米のいくつかの国において、デング熱およびデング出血熱の患者が増加し国の公衆衛生上の問題となっており、人口密集地域で蚊の繁殖場所を除去する対策が始まっている。

エルサルバドル: エルサルバドル政府は、デング熱の流行のため全国に非常事態を宣言した。9月5日までに政府当局は1,359例のデング熱と168例のデング出血熱(うち死亡12例)が今年発生したことを確認した。血清型は全てデング2型であった。

ホンジュラス: ホンジュラス政府はデング熱の流行のため全国に注意報を発令した。9月5日までに政府担当官は3,551例のデング熱と8例のデング出血熱(死亡者なし)を報告した。血清型は不明である。

ドミニカ共和国: ドミニカ共和国政府は、デング熱の患者数が増加していることを確認しており、9月5日までに649例のデング熱と14例のデング出血熱(うち死亡5例)が報告されている。4つの血清型全てが報告されている。

コスタリカ: コスタリカ政府はデング熱症例数の急激な増加を確認しており、9月5日までに814例のデング熱が報告されたが、デング出血熱や死者は報告されていない。血清型は不明である。



感染症の話

クリミア・コンゴ出血熱(Crimean-Congo Hemorrhagic Fever)

クリミア・コンゴ出血熱(Crimean-Congo Hemorrhagic Fever : CCHF)は、クリミア・コンゴウイルスによる急性熱性疾患であり、ウイルス性出血熱(Viral Hemorrhagic Fever : VHF)4疾患のひとつである。この疾患はダニが媒介する疾患で、ヒトからヒトへのウイルスの感染は、血液や体液を介して伝播される。ダニへの感染源となるのは、ウイルス保有感染ダニ、患者及び感染者、さらに野生及び家畜哺乳類である。インド亜大陸からモンゴル、中国西部にかけて広く分布しており、Zoonosis(人畜共通感染症)として最も重要な位置にある。臨床症状として、発熱と点状出血から大紫斑と多彩な出血像が特徴的である。近年はダニの体内での垂直伝播も知られ、今後疫学的にも最も注意していくべき感染症のひとつである。

疫学

CCHFが世界中に知られるようになったのは、中央アジアのクリミア地方で野外作業中の旧ソ連軍兵士の間で1944～45年にかけて重篤な出血を伴う急性熱性疾患が発生した時のことである。この折に患者血液や、ダニからウイルスが分離されたが、1956年アフリカのコンゴで分離されたウイルスと同一であることがCasals博士により明らかにされ、CCHFウイルスの名前がつけられた(米国ではCongo-Crimianと称されている)。ちなみにCasals博士はCCHFウイルス以外に1969年にラッサウイルスを初めて分離した人として知られている。

現在患者発生が知られている地域は、アルバニア、ブルガリア、ユーゴスラビア等の東欧、中央アジア、ロシア、パキスタン、イラク、イラン、サウジアラビア、ドバイ、オマーン等の中近東、中国、モンゴル地方、アフリカ全域(南アフリカ、コンゴ、モーリタニア、ウガンダ、セネガル等)である。このウイルスがダニや哺乳類から分離されている地域は、ギリシャ、ナイジェリア、中央アフリカ共和国、ケニア、マダガスカル、エチオピア、ブルキナファソ等の国々である。

CCHFウイルスの感染経路は①感染マダニに咬まれる、ダニをつぶす、感染動物の血液や組織との接触、②感染者や患者の血液、血液の混入した排泄物、汚物などとの接触、③羊飼い、キャンパー、農業従事者、獣医師等家畜やダニと密接に接する人、④病院で患者に接する医療



関係者、および介護にあたる家族等である。院内感染はしばしばみられている。

他の出血熱ウイルス同様、空気感染は否定されている。パキスタン、ドバイ等の病院での発生はいずれも手術に伴うもので血液との直接接触で、医師、看護婦が感染している。

1985年の南アフリカでの発生は31例で、曝露された感染源と潜伏期間はそれぞれ、ダニ咬傷が3.2日、家畜等の血液との接触が6日、患者や感染者との接触では5.6日であった。19/31例でウイルスが分離され、IgMは5例のみで検出された。

病原体

CCHFウイルスは、ブニヤウイルス科(*Bunya viridae*)のナイロウイルス属(genus *Nairovirus*)のメンバーである。粒子の径は90-110nmの球形で、1本鎖RNAをもつ。3分節L、M、Sの分子量は 6×10^6 Daである。自然界では野生、家畜等の哺乳動物(ウシ、ヤギ、ヒツジなど)が自然宿主で、ヒトへはマダニ(*hyalomma*)が媒介する。現在27種のマダニがこのウイルスを媒介することが知られている。鳥が感染マダニを遠隔地へ運ぶことも知られている。最近の注目すべき事実は、感染マダニの中でウイルスが垂直感染を繰り返していることである。すなわち、感染哺乳類がいなくてもマダニのみで感染源になることを示している。

臨床症状

潜伏期間は2-9日で、ダニに咬まれる、患者血液に直接接触するなどすると発生までの期間が短くなる。症状は表に示したように非特異的である。発生は突発的で、発熱、頭痛、筋肉痛、腰痛、関節痛がみられ、重症化すると種々の程度の出血がみられる(点状出血から大紫斑まで)。死亡例では肝腎不全と消化管出血が著明である。致命率は15-40%で、感染者の発症率は20%と推定されている。

表1. ウイルス性出血熱と出血を生ずるウイルス病

疾患名(登場年)	ウイルス(科)	自然宿主と感染経路	分布地域
ラッサ熱(1969)	ラッサ(アレナ)	マストミス ヒト ヒト; まれに院内感染	西アフリカ一帯
エボラ出血熱(1976)	エボラ(フィロ)	不明 ヒト ヒト; 不十分な医療用具による看護、介護での感染	アフリカ中央部
マールブルグ病(1967)	マールブルグ(フィロ)	不明 ヒト ヒト/サル ヒト ヒト	アフリカ中東南部
クリミア・コンゴ出血熱(1945,1956)	コンゴ(ブニヤ)	哺乳動物 ダニ ヒト ヒト; しばしば院内感染	アフリカ全土、中近東、中央アジア、インド亜大陸、東欧、中国
南米出血熱	フニン、マチュボ、グアナリト、サヒア(アレナ)	アルゼンチン出血熱、ボリビア出血熱、ベネズエラ出血熱、ブラジル出血熱 野ネズミ ヒト	南米
黄熱	黄熱(フラビ)	蚊 ヒト	アフリカ、中南米
腎症候性出血熱	ハンタ(ブニヤ)	野ネズミ ヒト	アジア、欧州
ハンタウイルス肺症候群	ハンタ(ブニヤ)	野ネズミ ヒト	米国
リフトバレー熱	リフトバレー(ブニヤ)	蚊 ヒト	アフリカ全域、中近東
デング出血熱	デング(フラビ)	蚊 ヒト	東南アジア、インド、中南米

VHF: クラス4病原体、ヒトからヒトへの感染が見られる。 クラス4病原体、ヒト ヒト感染はまれ。 クラス3病原体(CDCでは、ハンタウイルス肺症候群についてはクラス4扱いとしている。)

表2. ウイルス性出血熱の臨床症状、診断、治療

疾患	潜伏期間	症状	診断法	治療法
ラッサ熱	7～18日	発症は突発的、進行は徐々 高熱(39～41℃)、全身倦怠感 3～4日目に大関節痛、咽頭痛、咳、次いで 心窩部痛、後胸部痛、嘔吐、下痢、腹部痛 重症化すると、顔面頸部浮腫、結膜・ 消化管出血、心囊・胸膜炎	① 血液、尿からのウイルス 分離 ② IFAやELISAによる抗体 検出	リバビリン(日本では 市販されていない)を 発症直後に用いると 有効 (死亡率:90% 10%に) ワクチンはない
エボラ出血熱	2～21日	発症は突発的 主症状はインフルエンザ様、発熱、頭痛(100%)、 腹・胸部痛、咽頭痛(80%) 出血は死亡例の90%以上	① 血液などからウイルスを 分離 ② 抗体上昇を確認する (IFA, ELISA)	対症療法のみ ワクチンはない
クリミア・コンゴ 出血熱	2～9日	非特異症状、発症は突発的 発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛 重症化すると、全身の出血、血管虚脱 死亡例では消化管出血、肝・腎不全 感染者の発症率は約20%	① 発症1週間以内に血液 からウイルスを分離 ② 抗体上昇を確認 (IFA, CF)	対症療法のみ ワクチンはない
マールブルグ病	3～10日	発症は突発的 発熱、頭痛、筋肉痛、皮膚粘膜発疹、咽頭結膜炎 重症化すると下痢、鼻口腔・消化管出血	① 血液からウイルスを分離 ② 抗体上昇の確認	対症療法のみ ワクチンはない

IFA:免疫蛍光抗体法、 ELISA:固相酵素免疫検定法、 CF:補体結合反応

病原診断

最も重要なことは①発症1週間以内にウイルスを分離する、②PCR法等で血中からCCHFウイルス遺伝子を検出する、③ELISA、免疫蛍光法、補体結合反応等で有意の抗体上昇を確認する、などである。発症21日(3週)で補体結合反応陰性の時はこの疾患ではない、といえる。

治療・予防

ワクチンはない。感染予防には基本的バリア(ガウン、手袋、マスク等の装着)で十分である。特異的治療法はない。治癒例では後遺症はみられない。鑑別診断は全ての急性出血性感染症が対象となる。

ラッサ熱の治療薬リバビリンがCCHFにも効果があるのではとされているが、ヒトの例での実証例はない。

感染症法の中でのCCHFの取扱い

CCHFは、1類感染症に定められており、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る必要がある。類似患者、患者、無症状病原体保有者のいずれであっても届け出は必要である。報告のための基準は、以下の通りとなっている(平成11年3月30日 厚生省結核感染症課長通知)。

当該疾患を疑う症状や所見があり、かつ、以下の方法によって病原体診断または血清学的診断がなされたもの。

(材料)血液、血清

- ・病原体の検出
例:ウイルスの分離など
- ・抗原の検出
例:ELISA法など
- ・病原体の遺伝子の検出

例: PCR法など

・血清抗体の検出

例: IgGのIFA、補体結合反応による検出など

当該疾患を疑う症状や所見はないが、病原体か抗原が検出されたもの
(病原体や抗原は検出されず、遺伝子や抗体のみが検出されたものを含まない)

疑似症の診断

臨床的特徴に合致し、以下の疾患の鑑別診断がなされたもの

(鑑別診断)他のウイルス性出血熱、チフス、赤痢、マラリア、デング熱、黄熱等

《備 考》

当該疾患を疑う症状や所見はないが、病原体や抗原は検出されず、遺伝子や抗体のみが検出されたものについては、法による報告は要さないが、確認のため保健所に相談することが必要である。

学校保健法の中でのCCHFの取扱い

CCHFは学校において予防すべき伝染病第1種に定められており、治癒するまで出席停止となる。

(国立感染症研究所副所長 倉田 毅)



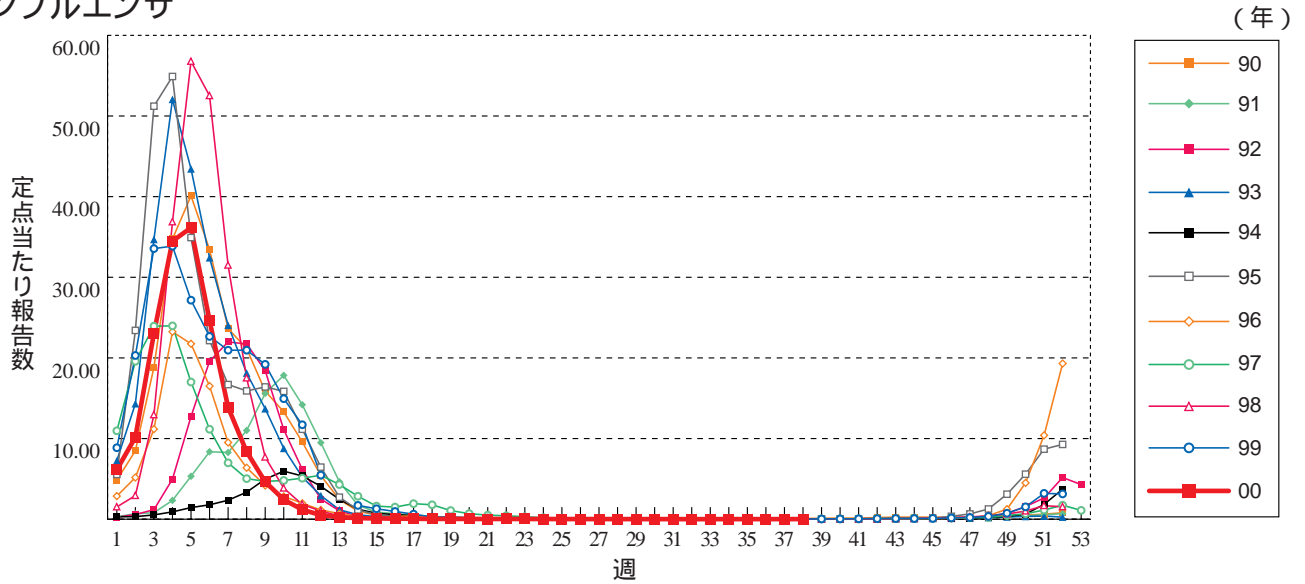
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

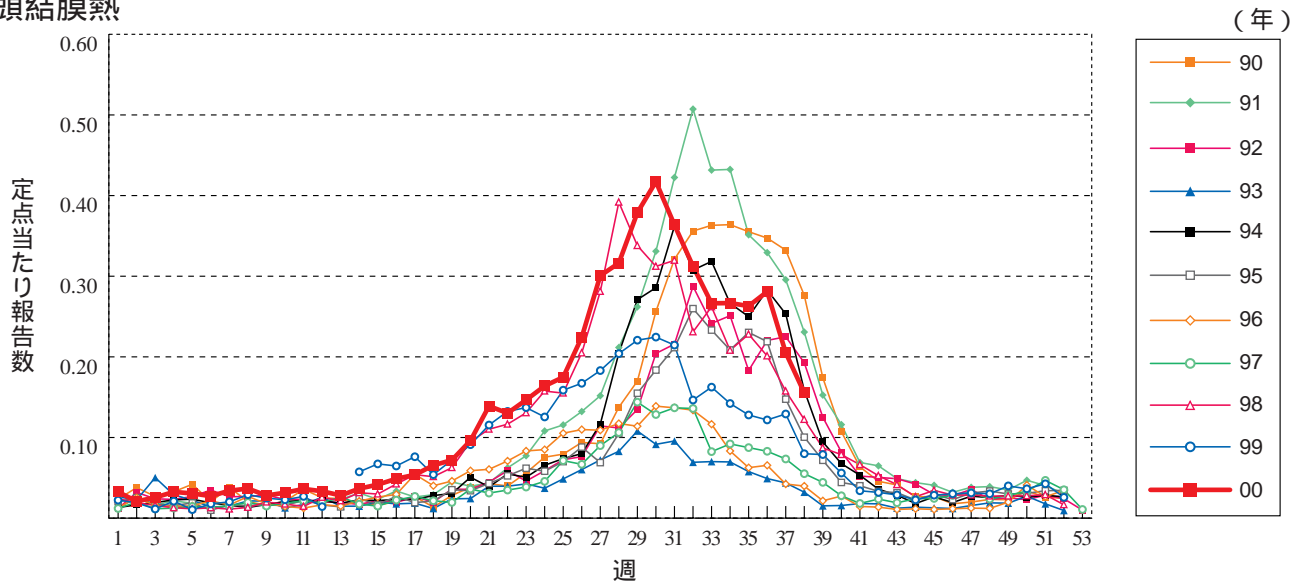
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(38週)

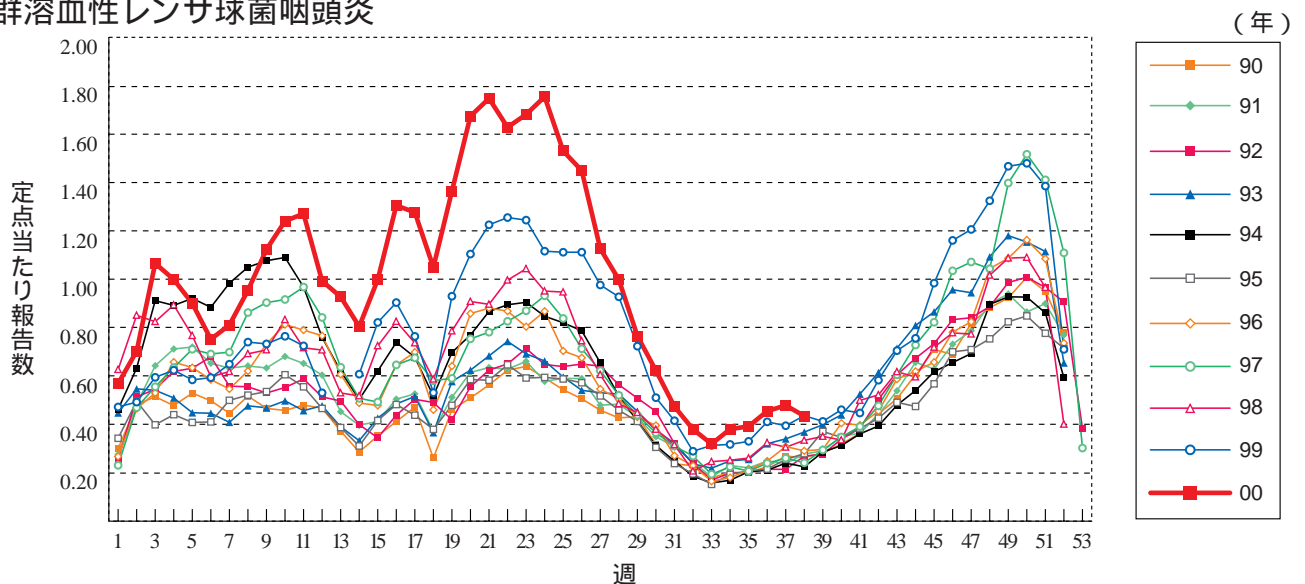
インフルエンザ



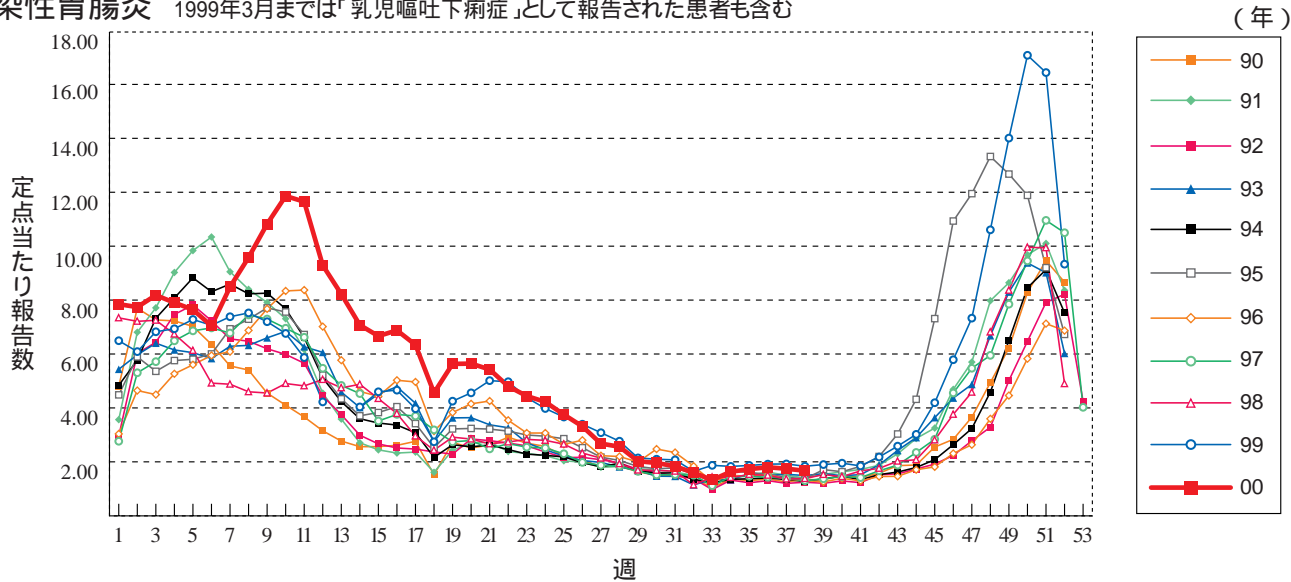
咽頭結膜熱



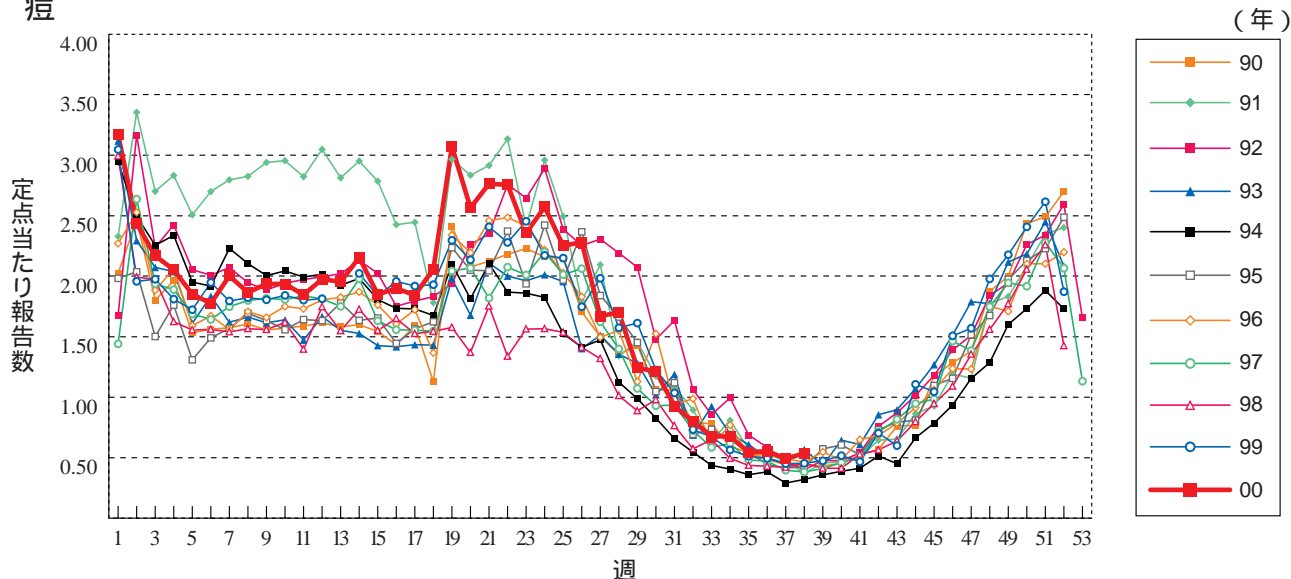
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



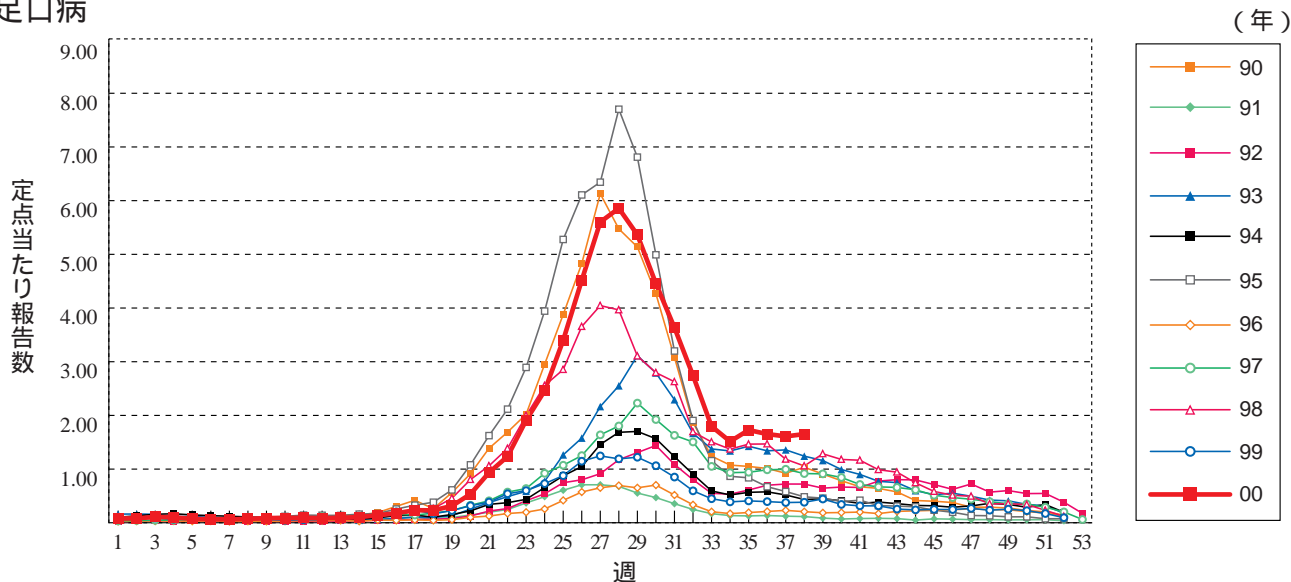
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



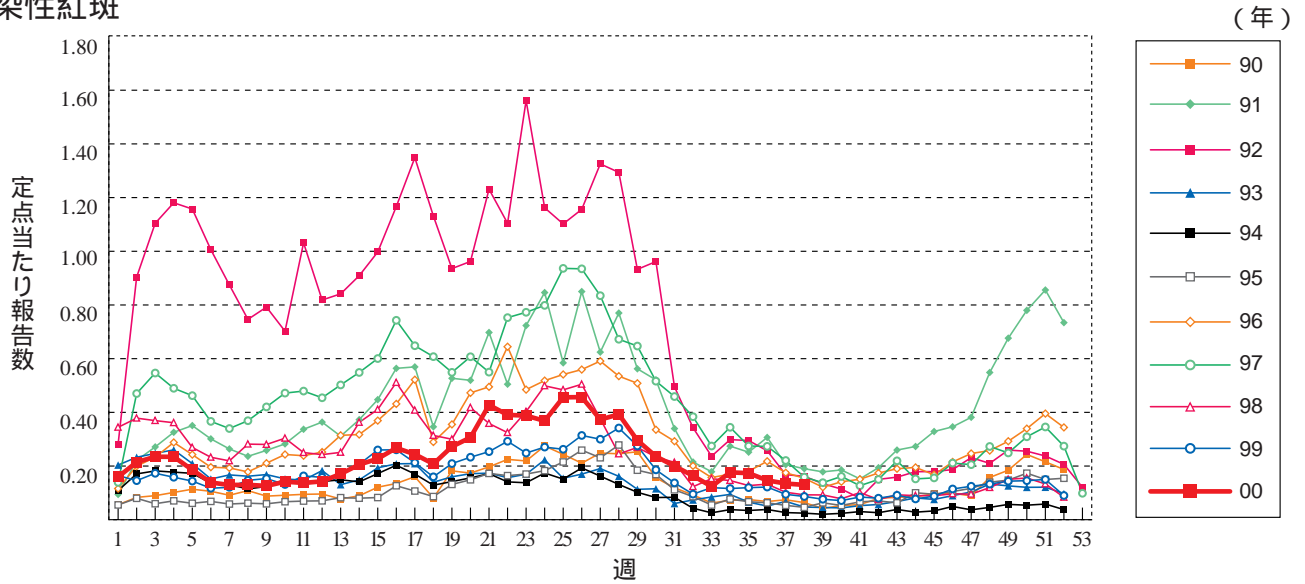
水痘



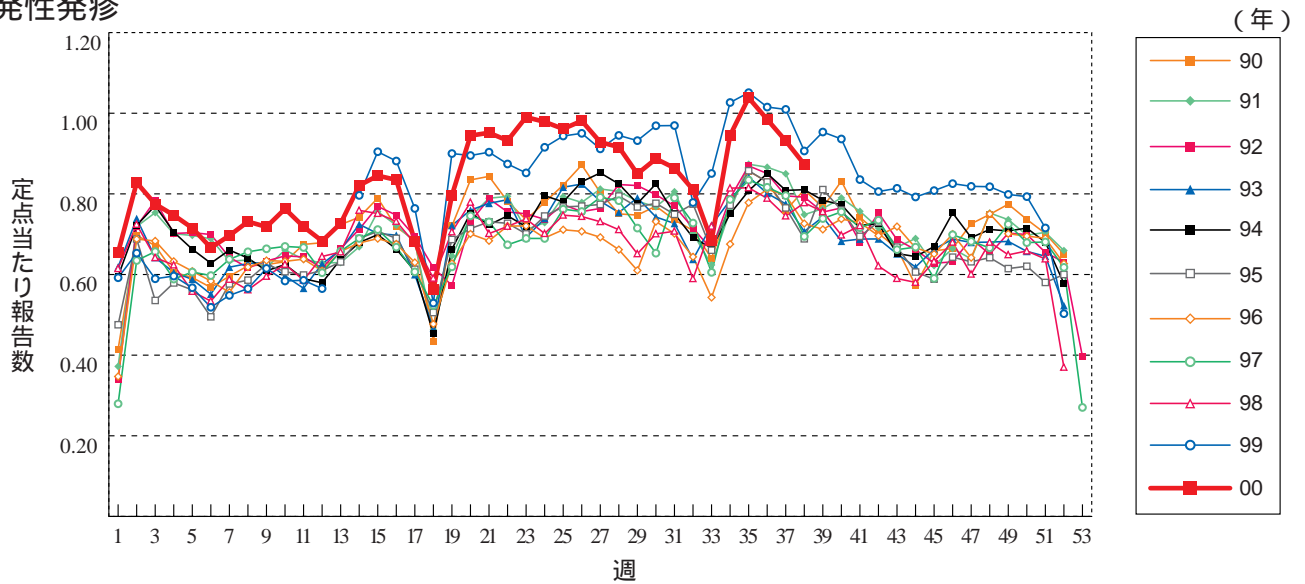
手足口病



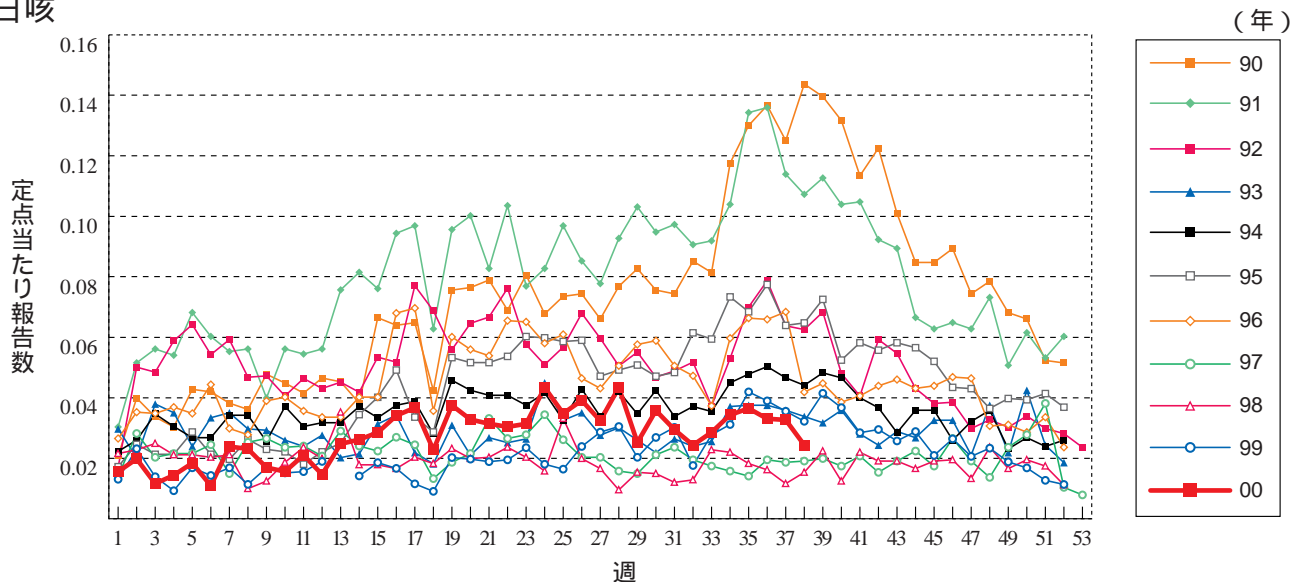
伝染性紅斑



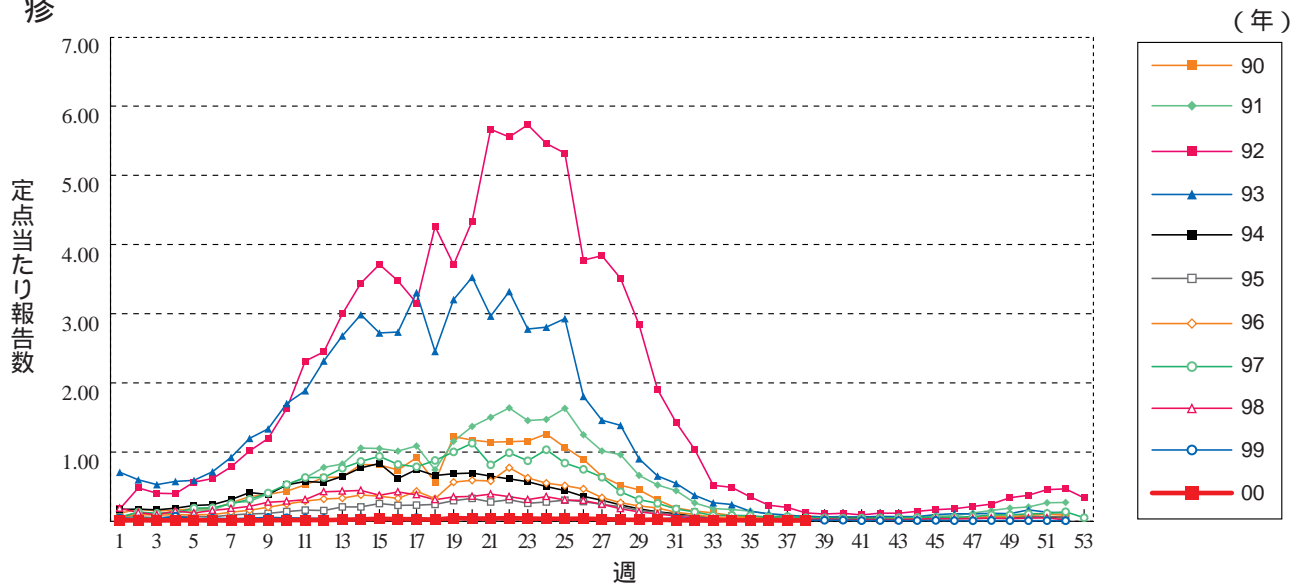
突発性発疹



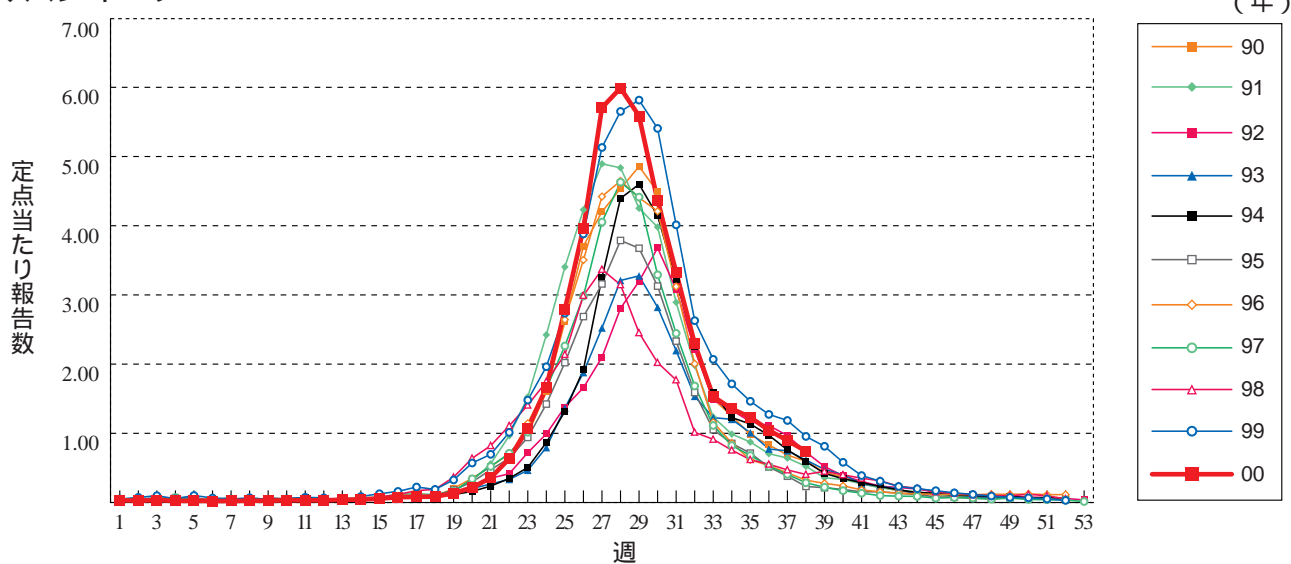
百日咳



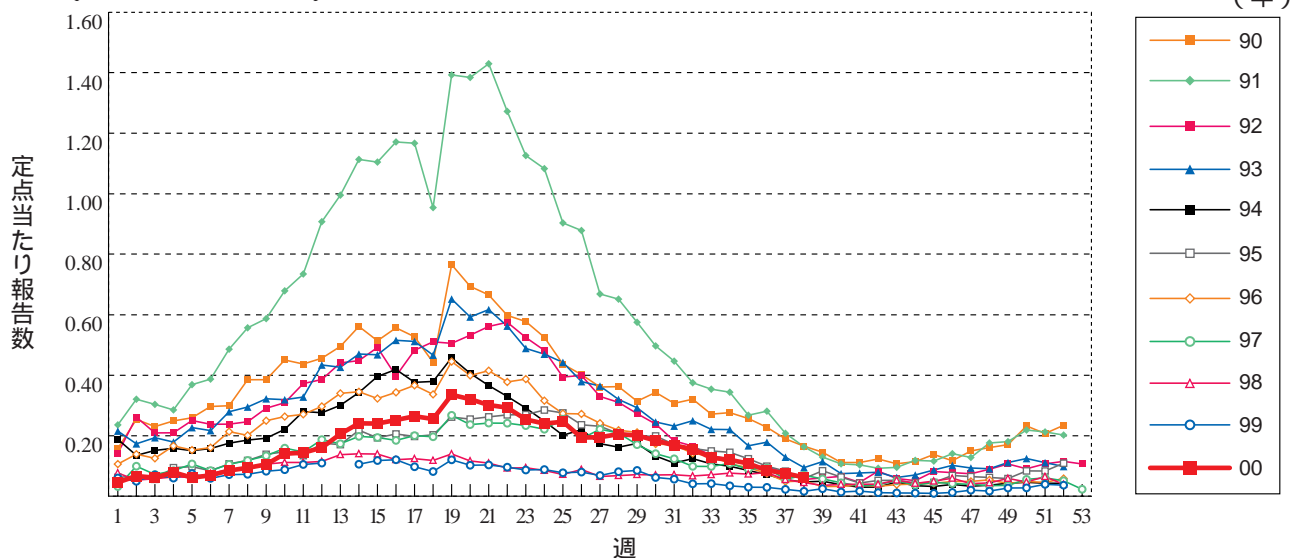
風 疹



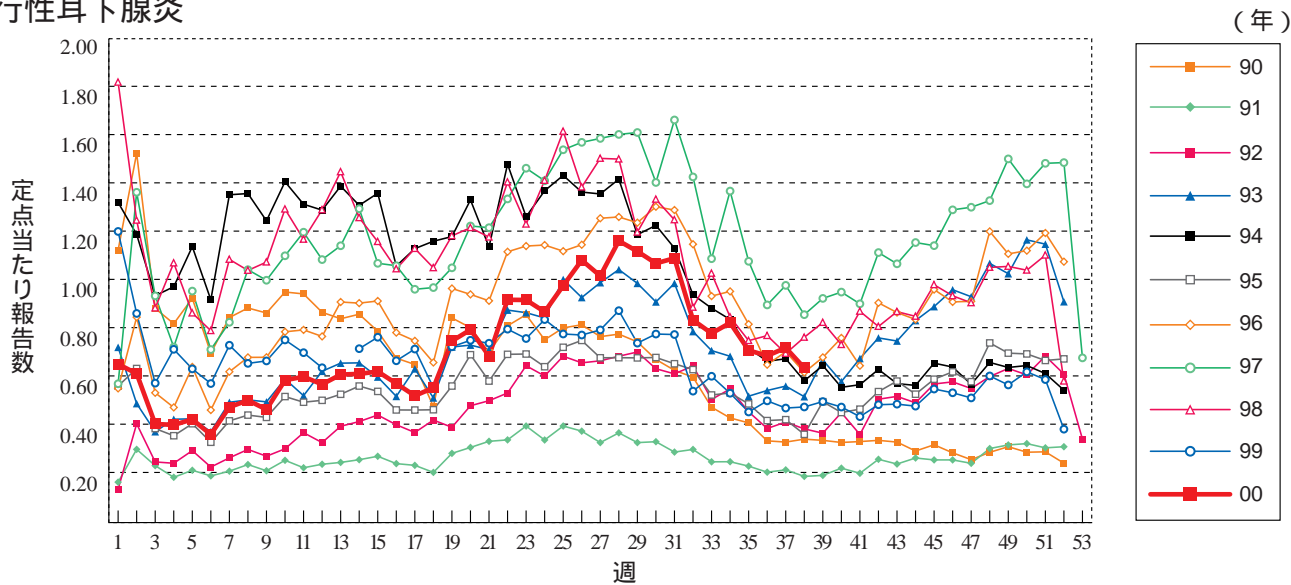
ヘルパンギーナ



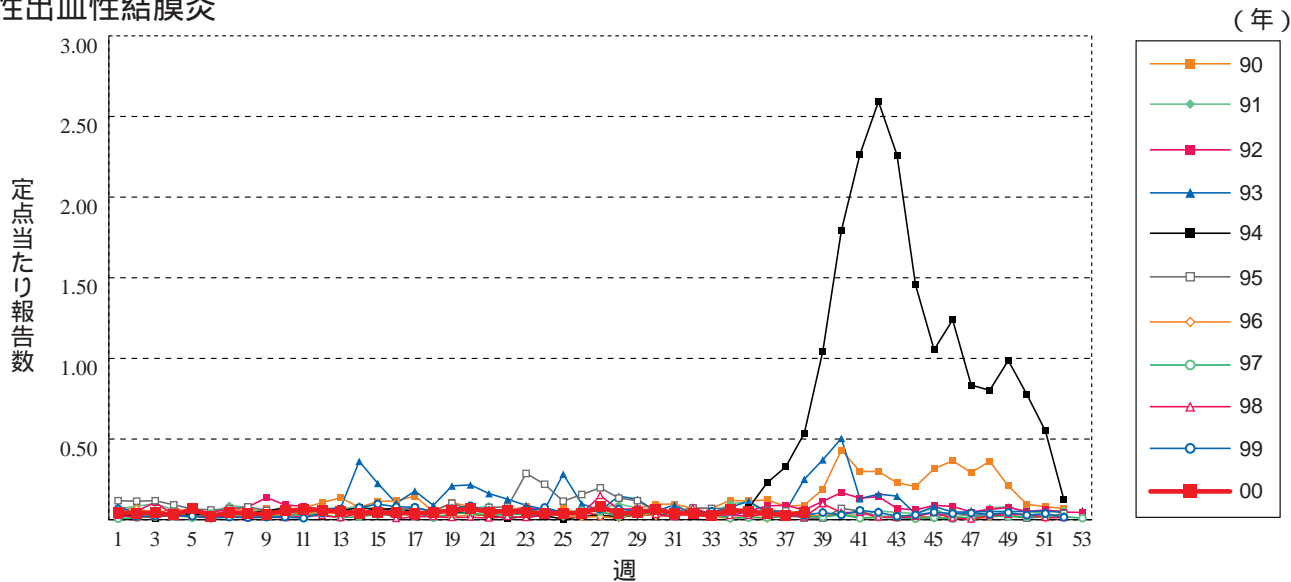
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



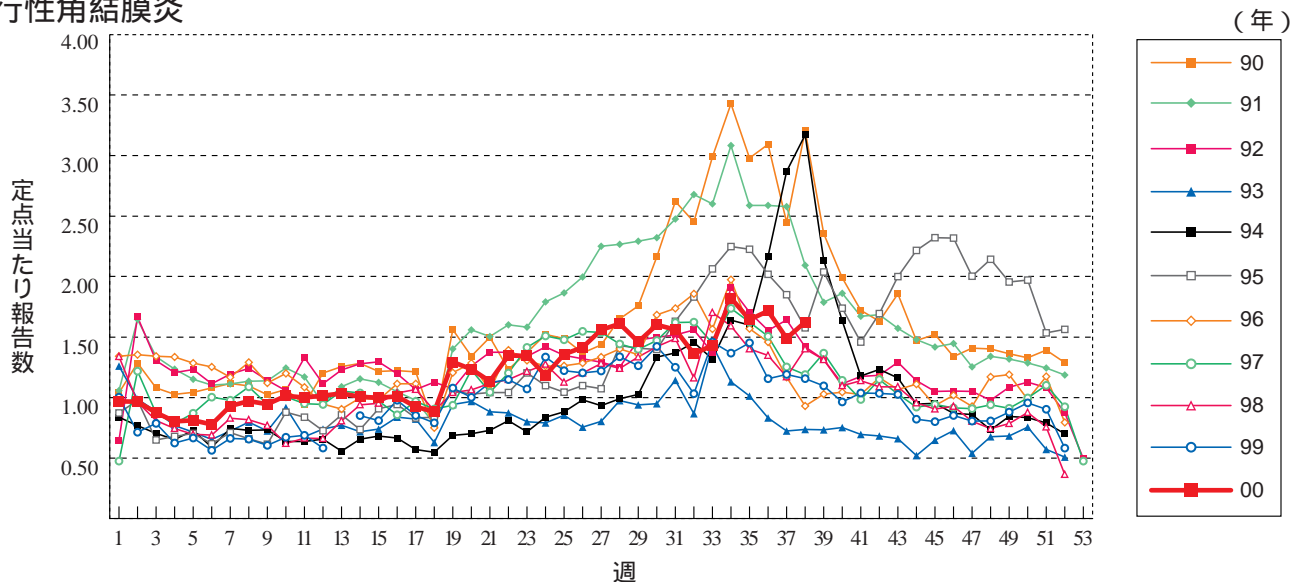
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

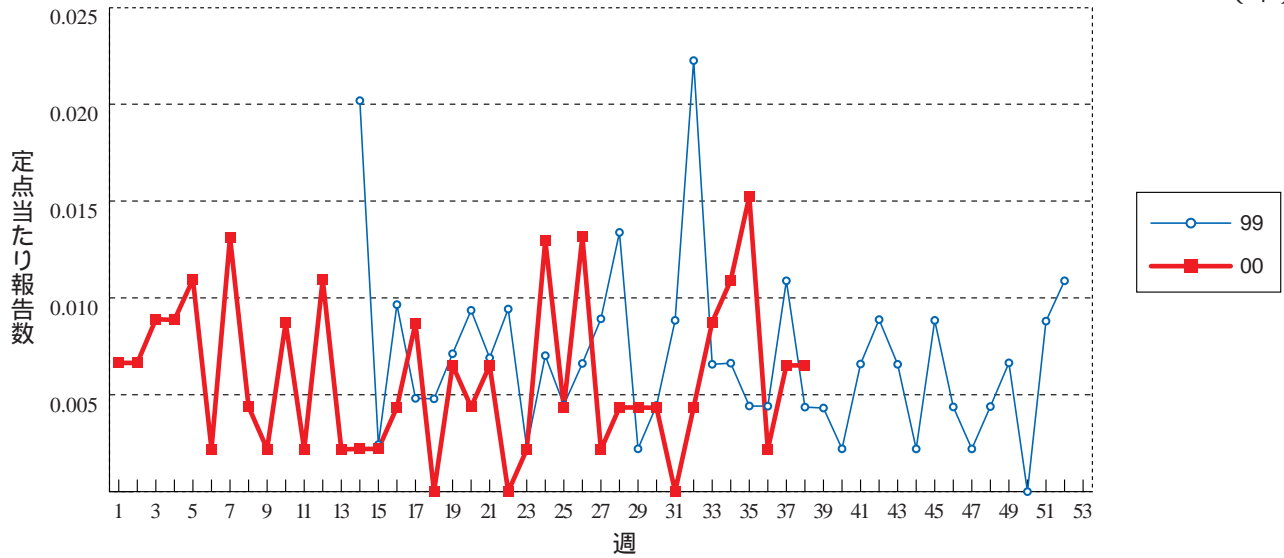


流行性角結膜炎



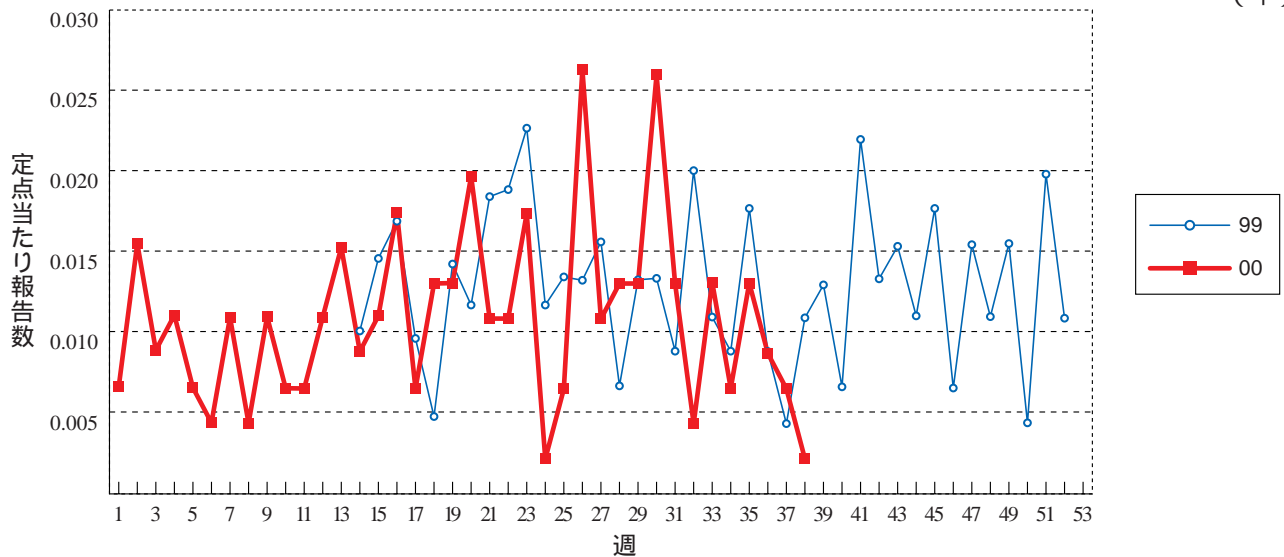
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



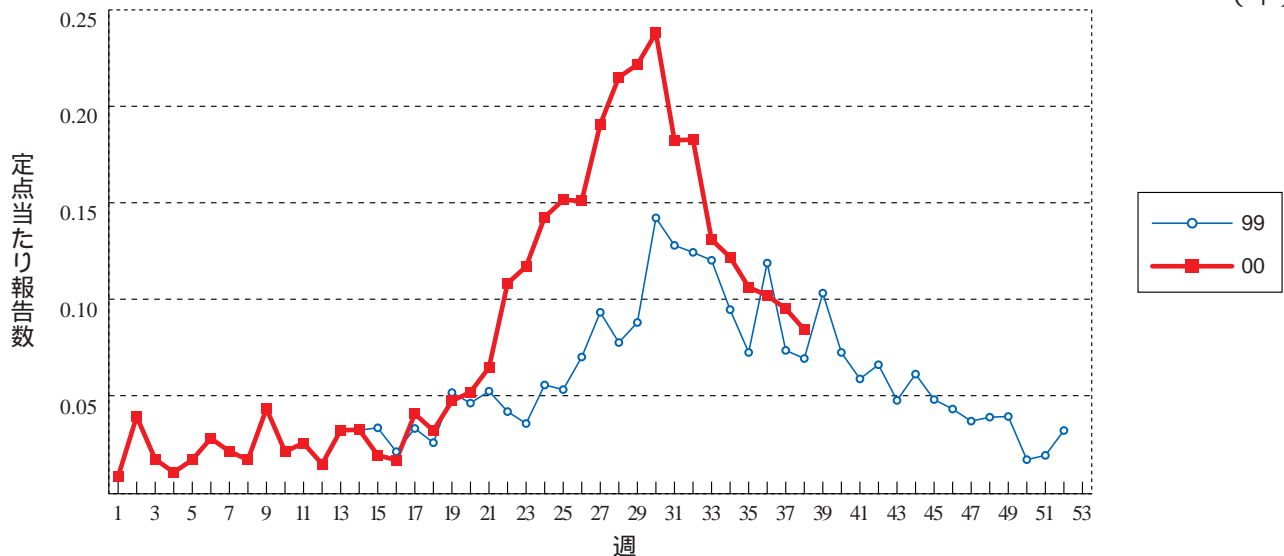
細菌性髄膜炎

(年)

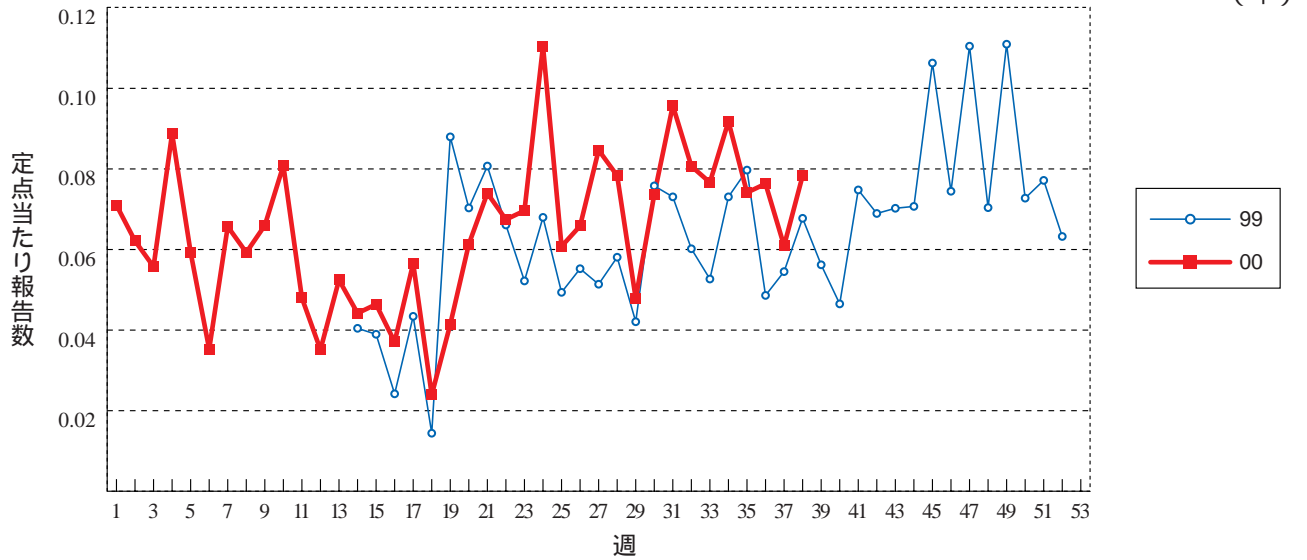


無菌性髄膜炎

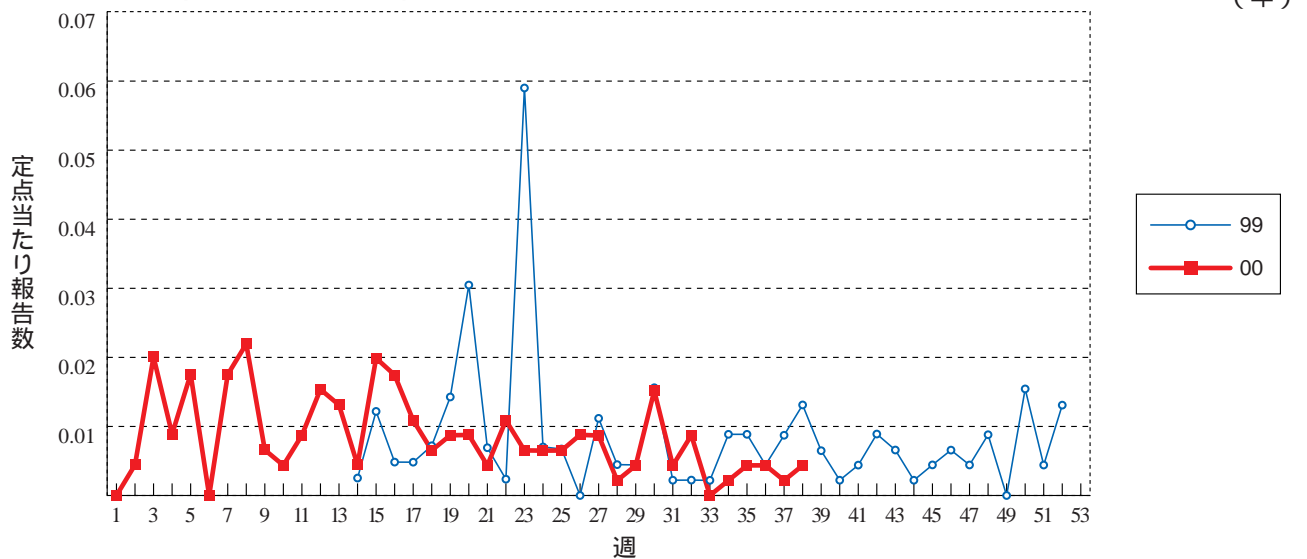
(年)



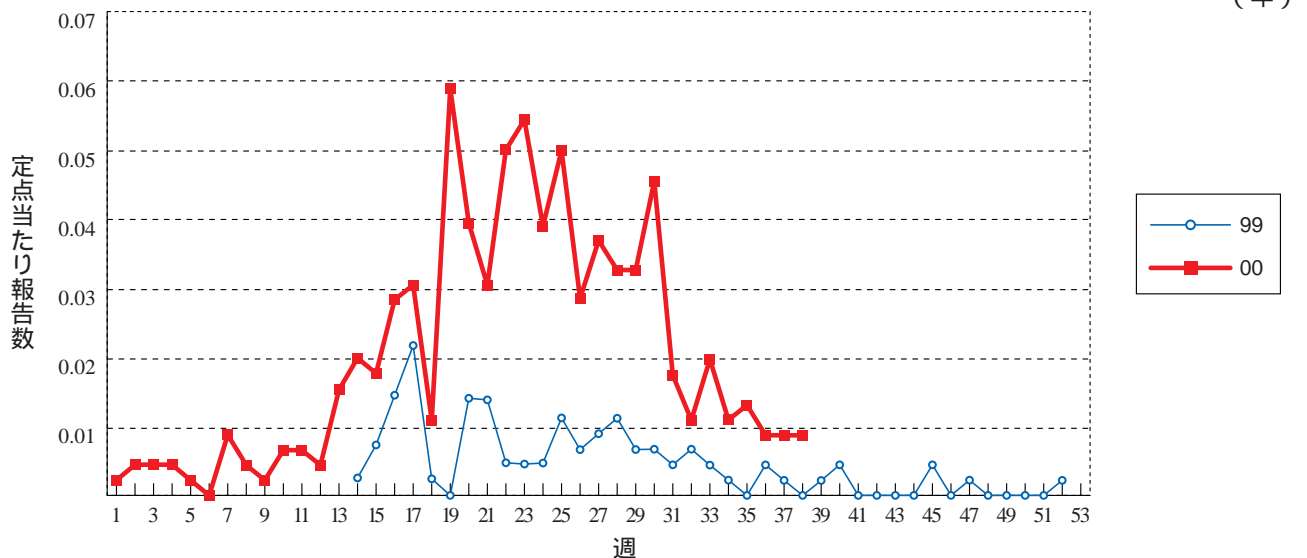
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻疹





38週のデータ

注)表中の報告数は9月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年38週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	41	27	558	4	72	1	14
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	16	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	6	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	2	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	24	-	4	1	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	8	109	1	12	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	43	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	1	4	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	37	-	5	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	6	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8	-	1	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	19	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	52	-	7	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	21	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	13	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	26	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年38週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	153	2711	4	269	-	18	-	-	-	14	-	-	23	754
北海道	-	-	-	-	4	84	-	4	-	17	-	-	-	-	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	35	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	1	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	2	52	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
秋田県	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
山形県	-	-	-	-	8	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
福島県	-	-	-	-	1	14	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	1	2	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	3	23	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
埼玉県	-	-	-	-	5	78	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
千葉県	-	-	-	-	4	82	-	12	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
東京都	-	-	-	-	13	232	-	67	-	-	-	-	-	3	-	-	2	81
神奈川県	-	-	-	-	2	145	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	2	31
新潟県	-	-	-	-	-	15	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	46	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
福井県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
長野県	-	-	-	-	-	22	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	2	22	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
静岡県	-	-	-	-	4	31	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7	33
愛知県	-	-	-	-	8	152	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	1	35	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
滋賀県	-	-	-	-	1	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	5	38	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
大阪府	-	-	-	-	9	276	-	45	-	-	-	-	-	1	-	-	-	86
兵庫県	-	-	-	-	1	143	2	27	-	-	-	-	-	-	-	-	2	82
奈良県	-	-	-	-	3	21	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
和歌山県	-	-	-	-	-	35	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
鳥取県	-	-	-	-	-	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	6	67	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	27
広島県	-	-	-	-	1	94	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	1	30	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31
香川県	-	-	-	-	6	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	1	22	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22
高知県	-	-	-	-	1	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
福岡県	-	-	-	-	39	260	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32
佐賀県	-	-	-	-	10	42	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
長崎県	-	-	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	4	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
大分県	-	-	-	-	1	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	-	2	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
鹿児島県	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
沖縄県	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年38週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	-	-	3	-	68	-	36	8	529	-	1	1	68	-	-
北海道	-	6	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	2	-	-	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	34	-	-	1	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	13	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	2	29	-	-	-	4	-	
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	-	44	-	-	-	2	-	
東京都	-	-	-	-	-	1	-	8	-	2	4	212	-	1	1	13	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	33	-	-	-	8	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	3	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	6	-	-	-	-	-	
静岡県	-	3	-	-	-	-	-	3	-	2	-	15	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	13	-	-	2	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	5	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	32	-	-	8	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	5	-	13	-	-	7	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年38週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	10	-	1	-	-	1	218	-	13	-	20	2	5	-	-	4	549
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6	-	-	-	-	-	19
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	1	83
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	21
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-	-	-	2	35
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-	-	-	19
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	1	-	-	-	-	-	10
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年38週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	70	1	25	-	-	-	-	-	-	-	-	2	117	-	9	1	121
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
千葉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
東京都	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	7
神奈川県	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	28
愛知県	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	3
兵庫県	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年38週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	64	0.01	466	0.16	1303	0.43	5033	1.68	1605	0.54	4943	1.65	388	0.13	2618	0.87	73	0.02
北海道	-	-	4	0.03	81	0.56	132	0.91	70	0.48	377	2.60	29	0.20	94	0.65	-	-
青森県	-	-	1	0.02	19	0.46	30	0.73	25	0.61	115	2.80	6	0.15	20	0.49	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	6	0.16	30	0.79	10	0.26	57	1.50	12	0.32	21	0.55	-	-
宮城県	-	-	-	-	36	0.61	153	2.59	39	0.66	154	2.61	13	0.22	69	1.17	5	0.08
秋田県	-	-	1	0.03	9	0.26	64	1.83	18	0.51	34	0.97	5	0.14	14	0.40	-	-
山形県	-	-	1	0.03	12	0.40	47	1.57	41	1.37	62	2.07	7	0.23	24	0.80	2	0.07
福島県	-	-	4	0.08	17	0.35	79	1.65	20	0.42	147	3.06	4	0.08	38	0.79	1	0.02
茨城県	-	-	-	-	29	0.40	94	1.31	49	0.68	83	1.15	3	0.04	36	0.50	1	0.01
栃木県	-	-	1	0.02	26	0.58	71	1.58	19	0.42	148	3.29	4	0.09	32	0.71	-	-
群馬県	1	0.01	1	0.02	48	0.77	105	1.69	44	0.71	37	0.60	8	0.13	51	0.82	-	-
埼玉県	3	0.01	24	0.15	85	0.54	310	1.96	73	0.46	323	2.04	26	0.16	159	1.01	4	0.03
千葉県	4	0.02	10	0.08	80	0.61	174	1.32	86	0.65	349	2.64	35	0.27	128	0.97	3	0.02
東京都	4	0.02	11	0.08	29	0.20	227	1.60	37	0.26	226	1.59	18	0.13	89	0.63	5	0.04
神奈川県	12	0.04	12	0.06	47	0.23	310	1.51	81	0.40	201	0.98	36	0.18	207	1.01	-	-
新潟県	-	-	3	0.05	45	0.75	93	1.55	36	0.60	102	1.70	4	0.07	58	0.97	3	0.05
富山県	-	-	2	0.07	13	0.45	51	1.76	12	0.41	85	2.93	1	0.03	33	1.14	-	-
石川県	1	0.02	5	0.17	6	0.21	76	2.62	18	0.62	58	2.00	-	-	17	0.59	-	-
福井県	-	-	5	0.23	12	0.55	118	5.36	16	0.73	57	2.59	1	0.05	29	1.32	-	-
山梨県	4	0.10	1	0.04	9	0.36	33	1.32	16	0.64	37	1.48	7	0.28	9	0.36	-	-
長野県	-	-	34	0.65	34	0.65	95	1.83	29	0.56	258	4.96	3	0.06	42	0.81	1	0.02
岐阜県	-	-	-	-	26	0.49	58	1.09	31	0.58	104	1.96	3	0.06	25	0.47	1	0.02
静岡県	1	0.01	30	0.35	23	0.27	221	2.57	30	0.35	214	2.49	6	0.07	108	1.26	1	0.01
愛知県	-	-	14	0.08	69	0.38	245	1.35	108	0.59	321	1.76	56	0.31	150	0.82	6	0.03
三重県	3	0.04	9	0.20	20	0.44	121	2.69	25	0.56	134	2.98	5	0.11	59	1.31	1	0.02
滋賀県	-	-	7	0.23	19	0.63	32	1.07	13	0.43	24	0.80	-	-	30	1.00	1	0.03
京都府	2	0.02	5	0.07	30	0.39	152	2.00	27	0.36	73	0.96	6	0.08	54	0.71	-	-
大阪府	8	0.03	48	0.25	72	0.38	261	1.37	96	0.50	51	0.27	9	0.05	142	0.74	9	0.05
兵庫県	-	-	30	0.23	24	0.18	254	1.91	95	0.71	189	1.42	6	0.05	138	1.04	2	0.02
奈良県	-	-	7	0.20	7	0.20	86	2.46	19	0.54	20	0.57	5	0.14	19	0.54	1	0.03
和歌山県	2	0.04	20	0.65	12	0.39	44	1.42	30	0.97	35	1.13	6	0.19	22	0.71	-	-
鳥取県	-	-	3	0.16	48	2.53	58	3.05	7	0.37	84	4.42	-	-	24	1.26	2	0.11
島根県	-	-	2	0.09	4	0.17	24	1.04	9	0.39	114	4.96	-	-	12	0.52	-	-
岡山県	-	-	13	0.24	21	0.39	86	1.59	23	0.43	29	0.54	10	0.19	45	0.83	3	0.06
広島県	-	-	33	0.44	22	0.29	86	1.15	35	0.47	110	1.47	4	0.05	72	0.96	1	0.01
山口県	-	-	4	0.08	30	0.61	93	1.90	27	0.55	87	1.78	4	0.08	47	0.96	2	0.04
徳島県	-	-	14	0.61	5	0.22	34	1.48	13	0.57	17	0.74	-	-	28	1.22	3	0.13
香川県	-	-	4	0.13	10	0.31	22	0.69	12	0.38	36	1.13	1	0.03	33	1.03	4	0.13
愛媛県	-	-	16	0.41	19	0.49	110	2.82	22	0.56	26	0.67	-	-	42	1.08	3	0.08
高知県	-	-	13	0.42	13	0.42	31	1.00	7	0.23	62	2.00	-	-	17	0.55	1	0.03
福岡県	-	-	14	0.18	35	0.44	176	2.23	49	0.62	37	0.47	12	0.15	86	1.09	2	0.03
佐賀県	-	-	-	-	4	0.17	25	1.09	20	0.87	9	0.39	10	0.43	39	1.70	1	0.04
長崎県	-	-	-	-	13	0.30	45	1.02	25	0.57	17	0.39	-	-	29	0.66	-	-
熊本県	-	-	13	0.27	15	0.31	85	1.73	25	0.51	23	0.47	5	0.10	60	1.22	-	-
大分県	-	-	23	0.64	51	1.42	83	2.31	57	1.58	96	2.67	11	0.31	37	1.03	1	0.03
宮崎県	2	0.03	16	0.43	22	0.59	114	3.08	14	0.38	89	2.41	4	0.11	49	1.32	-	-
鹿児島県	11	0.11	5	0.08	21	0.35	175	2.92	36	0.60	10	0.17	1	0.02	60	1.00	2	0.03
沖縄県	6	0.10	2	0.06	25	0.74	20	0.59	11	0.32	22	0.65	2	0.06	21	0.62	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年38週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	38	0.01	2224	0.74	186	0.06	1916	0.64	29	0.05	1020	1.62	3	0.01	1	0.00	39	0.08
北海道	1	0.01	140	0.97	2	0.01	96	0.66	3	0.10	22	0.76	-	-	-	-	3	0.13
青森県	-	-	45	1.10	2	0.05	51	1.24	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	29	0.76	-	-	11	0.29	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	59	1.00	2	0.03	7	0.12	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	45	1.29	-	-	6	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	67	2.23	-	-	7	0.23	1	0.13	10	1.25	1	0.11	-	-	-	-
福島県	1	0.02	126	2.63	-	-	10	0.21	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	20	0.28	6	0.08	31	0.43	1	0.06	59	3.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	17	0.38	1	0.02	14	0.31	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.02	19	0.31	1	0.02	88	1.42	-	-	22	1.57	-	-	-	-	1	0.10
埼玉県	3	0.02	48	0.30	3	0.02	140	0.89	-	-	70	1.94	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.02	31	0.23	8	0.06	98	0.74	1	0.03	71	2.15	-	-	-	-	4	0.31
東京都	5	0.04	56	0.39	4	0.03	70	0.49	-	-	35	2.50	1	0.04	-	-	4	0.16
神奈川県	3	0.01	88	0.43	6	0.03	166	0.81	3	0.07	90	2.14	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	-	-	46	0.77	4	0.07	53	0.88	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.15
富山県	-	-	129	4.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	20	0.69	1	0.03	7	0.24	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	38	1.73	-	-	15	0.68	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	13	0.52	-	-	5	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	134	2.58	1	0.02	11	0.21	3	0.30	29	2.90	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	11	0.21	2	0.04	17	0.32	-	-	24	2.00	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	68	0.79	2	0.02	69	0.80	1	0.05	18	0.86	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	78	0.43	5	0.03	125	0.69	-	-	52	1.49	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	48	1.07	1	0.02	23	0.51	-	-	4	0.33	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	4	0.13	2	0.07	8	0.27	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	22	0.29	2	0.03	30	0.39	1	0.06	32	1.78	-	-	-	-	3	0.50
大阪府	3	0.02	106	0.55	20	0.10	96	0.50	3	0.06	57	1.10	-	-	-	-	1	0.13
兵庫県	2	0.02	78	0.59	9	0.07	66	0.50	-	-	43	1.23	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	3	0.09	15	0.43	28	0.80	-	-	29	3.22	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	34	1.10	1	0.03	4	0.13	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	4	0.21	-	-	15	0.79	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	13	0.57	2	0.09	16	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29
岡山県	1	0.02	27	0.50	8	0.15	17	0.31	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	39	0.52	13	0.17	57	0.76	1	0.05	31	1.55	-	-	-	-	6	0.29
山口県	-	-	68	1.39	6	0.12	67	1.37	1	0.11	22	2.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	18	0.78	-	-	6	0.26	1	0.25	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	23	0.72	2	0.06	32	1.00	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	68	1.74	-	-	16	0.41	-	-	24	3.43	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	35	1.13	25	0.81	20	0.65	2	0.67	3	1.00	-	-	-	-	3	0.43
福岡県	-	-	36	0.46	7	0.09	78	0.99	1	0.06	62	3.44	-	-	1	0.07	2	0.13
佐賀県	-	-	14	0.61	3	0.13	33	1.43	1	0.25	3	0.75	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	20	0.45	2	0.05	7	0.16	2	0.25	33	4.13	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	55	1.12	1	0.02	136	2.78	-	-	32	3.56	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	49	1.36	8	0.22	18	0.50	-	-	8	1.60	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	1	0.03	106	2.86	2	0.05	22	0.59	-	-	8	2.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.03	21	0.35	3	0.05	17	0.28	-	-	6	1.20	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	6	0.18	4	0.12	7	0.21	-	-	20	2.00	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年38週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	36	0.08	2	0.00	4	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	9	0.75	-	-	-	-
秋田県	3	0.38	-	-	-	-
山形県	3	0.33	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.08	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.40	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.10
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.11	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.13	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	2	0.10	1	0.05
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	3	0.43	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第38号 平成12年10月6日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL： <http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhw.go.jp/>
< 厚生省 >
<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>
< 成田空港検疫所 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報 >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。